



# 實性

平成二十八年 第三号 お盆号発行

## お盆回向のご案内

ご先祖様をお家にお迎えする「お盆」。

各地域の風習により様々なお迎えの仕方があります。その一つに、精霊棚（しょうれいだな）と呼ぶしつらえがありますが、真菰（まこも）を敷いた台に仏壇からお位牌を移し、キュウリの馬とナスの牛を飾り、三具足（灯・香炉・花）を供え、霊膳や季節の野菜などを捧げてご先祖様をお迎え致します。日本人らしい「おもてなし」のまごころがそこにあります。

ご先祖様がいらつしやるからこそ「今の私」があるということ、そして大切なのは、いつも見守り続けてくださっているということと、ご先祖様への感謝の気持ちは、ともしれば日々の忙しさの中に忘れがちになってしまいます。この「お盆」に感謝の意を表しましょう。

特に、新盆を迎えられるお家では、初めてお家に戻られる日でございます。心のこもったご回向をしたいものです。

七月十六日（土）、八月十三日（土）に盂蘭盆会法要が厳修されます。お誘い合わせのうえご参加賜りますようご案内申し上げます。

### 七月お盆法要

● 七月十六日（土）

午後一時三十分

### 八月お盆法要

● 八月十三日（土）

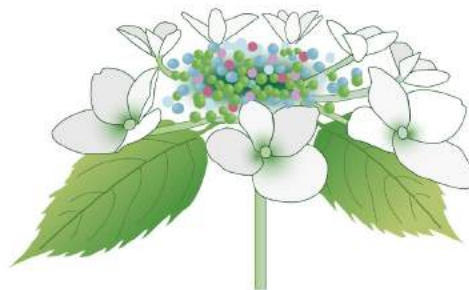
第一回 午前十時

第二回 午前十一時三十分

第三回 午後一時三十分

お盆法要のお塔婆はお早めにお申込み下さい。

★八月お盆法要のご案内は改めてご案内致します。



## お施餓鬼会ご報告

五月第四土曜日が実性寺の「施餓鬼会」です。

本年は、五月二十八日好天のもとに厳修されました。

檀信徒の方々二百四十名様という大勢のご参加を賜りました。この一大行事法要は、多くの人々、総代様、婦人部、晝月会、茶道部、職方のお手伝いにより成り立っています。皆様のご協力そのものが「施餓鬼会」であると存じます。朝早くからのご奉仕は、布施の行そのものです。必ずや御仏のご加護があり、ご先祖の供養となります。

ご出席いただいた檀信徒の各位には、中食（おとき）を召し上がっていただきましたが、これもご先祖供養の一つ、亡くなられた方とご一緒にお食事をとるということです。十五名の御住職方との法要にて、檀信徒各家のご回向が出来ましたこと感謝の念にたえませぬ。

法要中に御仏をたたえ、お招きするために、「散華」を行います。「散華」とは、美しく咲いた花びらをまくことですが、蓮の花を型どった紙で出来た華です。この花びらは、極楽の池に咲く五色蓮華を表し、本堂壁面におまつりしてあります。雲中菩薩、そして境内の蓮の花の写真が書かれています。お持ちになれば、御仏の御守りとしていただけ存じます。法要前には、お説教（布教師・田丸英春上人）、余興（柳家我太楼師匠）がございました。

本年度のお供物は、東日本大震災復興の為に、被災地の方々

の手作りのストラップミニチュア帽子でした。わずかながらも支援の一つになればと存じます。

お食事（おとき）、余興、お説教、法要と長時間にわたる行事ですが、来年も皆様お誘いあわせのうえご参加賜りますようお願い申し上げます。

平成二十九年お施餓鬼会は、五月二十七日（土）でございます。





## 七夕・蓮見の会

会費等ございません

今年も境内に蓮の花が咲きます。「蓮見の会」を開催いたします。お檀家様以外の方もお誘いあわせのうえご参加下さい。茶室にてお抹茶をお出しします。

七月七日の七夕に合わせて、本堂前に大笹を設置してごきます。短冊、筆ペン等を置いてごきますので、ご自由に願い事をお書きいただき笹に下げてください。七夕の笹は、六月二十日頃より設置しております。この七夕は、小中学生にも好評で、毎年短冊がいっぱいになります。

● 蓮見の会 〓 七月二日(土) 午前十時〜午後一時まで



境内の花



大手毬



甘茶



大山蓮華



黒蠟梅

☆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くても十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八  
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jishoji.com>



三寸あやめ



白色紫の蘭